

# 会員だより

## 梅宮大社参拝と

### 王朝時代の庭園散策の感想

例年は寒暖差のある3月ですが、今年は3月に入り20℃近い日が連続しました。

16日も暖かで、VG 槻輪のメンバーと梅宮大社参拝と梅の名所還流式庭園の散策に出かけました。

阪急嵐山線の松尾大社駅で下車しました。

幼い頃、松尾大社は初詣で何回も行き、懐かしい神社です。



松尾大社と記載

でもこの年になるまで、正式名称は「まつのおたいしゃ」というのをしりませんでした。

「まつおさん」というも呼んでおりました。

子供の頃は、渡月橋の上流の大堰川によく友達と川遊びや泳ぎに行っていました。



渡月橋欄干の親柱 川の名前の表示

川の水は非常に綺麗で冷たかったです。

この桂川は、歴史があり古墳時代から開発されてきました。

行政上は桂川で統一されていますが、川の流れて

る地区によって、葛野川・保津川・千年川・大堰川・梅津川・桂川など、多くの名前と呼ばれています。

この川にかかる松尾橋を右岸に渡りますと梅津地区に入ります。

私が幼い頃、松尾橋は木製の橋で、大きな台風が来ると川は氾濫し、流された橋を見に行った事もあります。

今は、令和2年に橋の改修工事も完成し、立派な橋になっていて、これなら川の氾濫にも耐えられると思えました。

永年嵯峨嵐山に住みましたが、梅宮大社を知りませんでした。ガイドブックは大変参考になりました。

住宅街のおくまったところ

宮司さんのお話ですと、昔は参道の横に大きな相撲の道場がありましたが、今は東神苑に移したとの事でした。

更に参道を進むと境内に入る楼門があります。楼門の2階に並ぶ数々の酒樽で酒と閑りの深い神社だなどわかりました。

屋根瓦の紋も菊花紋・橘紋・九条藤紋と由緒ある紋を見るとその神社の由来がわかります。

本殿は、瑞垣にある門の外から神殿（本殿）を参拝しました。本殿の建物は、かたち良い立派な檜皮葺の屋根の神殿です。



檜皮葺の屋根が素敵な本殿 手前の唐破風造の拝所

なんと美しい本殿だろうと感動致しました。この屋根の補修、修復された名匠の方々に感謝します。

本殿参拝後神苑に入りました。神苑は「咲耶池」を中心とした池泉回遊式庭園です。



背景には北の山々 咲耶池に浮かぶ池中亭

東苑の池中亭に浮かぶ島に「芦のまる屋」とも呼ばれる「池中亭」（茶室）があり、王朝時代の貴族が優雅にお茶を楽しんだ風景が浮かんでくるようでした。

池中亭の周りには鯉が泳ぎ、もう少し季節が進むと、かきつばた、あやめが咲く事でしょう。庭園の道には大きな椿が咲き、山吹などが咲く準備をしていました。

咲耶池の北側の広場に、宮司さんが話された、大きな相撲の道場があり東に相撲の更衣室と言う大きな建屋もありました。

回廊には、アジサイ、さつき、つつじが植えられていました。

勾玉池の周りには睡蓮、花しょうぶ等の株が見え

石の椅子があり、腰かけて池を見ると藤棚の藤・これらの花が咲き誇っている様子が頭の中で絵が出来上がって来ました。

貴族は四季を楽しみ、歌を詠み優雅な暮らしをしていたと想像しました。王朝時代の貴族はこのようなどころで心を癒やしていたのでしょうか。



藤棚・遠方に北の山並み 花菖蒲・紫陽花咲く勾玉池

ただ時代のながれで、神社仏閣の維持、管理は大変な苦勞だろうと思えますが、永遠に保存して欲しいと願っています。

梅宮大社散策後、仲間と松尾橋の東詰にある和食、旬菜おばんざい「みずき」で新鮮な京野菜をいりどりよく並べて、薄味なのに、味がしっかりついておいしくいただきました。京漬物も味わい深いものでした。

記・宝角弘枝

## 「VG 槻輪」 令和5年度総会開催について (ご案内)

総会を下記のとおり開催します。 記

### 1. 総会

- 1) 開催日：令和5年4月13日(木)
- 2) 場所：クロスパル高槻 302会議室
- 3) 時間：10:30 ~ 11:30
  - (1) 令和4年度 活動報告
  - (2) 令和4年度 会計決算・監査報告
  - (3) 令和5年度活動方針と計画
  - (4) その他

### 2. 親睦昼食会

- 1) 開催日：令和5年4月13日
- 2) 開始時間：12:00 ~ 14:30
- 3) 親睦会場：グリーンプラザ 5階 「つきの井」
- 4) 内容：
  - ① 親睦会食会・・・全員参加で 親睦会食会をしましょう！！
  - ② 自由に意見交換しましょう！！
  - ③ 会食後の懇親会 いつもの各人1品「あげて嬉しい、貰って嬉しい」交換会 他 VG 槻輪